

▽三百二十七名の馘首

正當なる我等の要求條件は、

無法な彼等の拒絶する所となつた。……………

怠業 罷業 ? 三山聯合役員大會

▲四月五日午後六時より通洞支部に於て

死!! 生!! 決死の努力は今なり。

諸君は既に戦ふべく起てるなり。

敗れんか正に死なり。

勝たんかな!! 勝たんかな!! 絶対に勝たざるべからず。

一般の會員は來り會せよ (入場無料)

然して萬丈の氣焔を擧げよ。……………

(原文のまゝ)

足尾聯合會運動本部

五日夜 通洞支部に於ける三山聯合役員大會の結果として、六日夜の入坑者より怠業を開始し、道具を携へずして入坑し坑内にて革命歌を歌ひ演説を試むる等手に負えざるものあり。七日夜に到り入坑者激減し殆ど罷業情態に入れるの觀あり。足尾聯合會幹部の策戦は「四十日間怠業を決心せん」と云へり。

栃木縣當局は事態穩かならざるため、六日保安課長警視登場軍藏、高等課長警部佐藤政右衛門兩氏を派遣し、次で巡査約四十名を栃木町方面より足尾に差向けたり。東京鑛務署は七日鑛務監督官補岡崎應助氏を、翌八日又協調會は囑託町田辰治郎氏を視察のため差遣せり。

怠業と共に馘首は覺悟されたり。左記の檄文に其意仄見ゆ。

會員諸君に檄す (原文のまゝ)

いよく古河は行詰つた。さらしていよく馘首は始まりさらだ……………諸君は決して急いではならぬ、今まで通りの冷靜な頭をもつて進んで行かねばならぬ。馘首なんかは豫れて吾等の覺悟して居たことで古河は我々の思ひ通りになりつゝあるのだ……………尙ほ残つた人は決議の如く堂々と怠業を続けられよ、急がす!! 騒がす!! 要求貫徹まで……………十日の示威運動も飽くまで男性的に致行しなければならぬ。

◎九日には麻生。佐野。赤松の三先生來山し

十日には棚橋。加藤。鈴木友愛會長。植田好太郎氏等を始め數氏來山に付其都度出迎ひを乞ふ。

足尾聯合會運動本部

怠業決行せらるゝや果然八日深夜を以て足尾鑛業所は三百二十七名の馘首を發表せり。本山百十三名、小瀧五十三名、通洞百三十六名、精鍊廿一名、用度八名、水煙六名にして解雇者に關する諸調査は附録第二に詳かなり。

解雇條件は五ヶ年以上勤績者に對して本番賃銀七十日分、五ヶ年以下は本番賃銀三十日分、七ヶ年以上は規定(附録第二)通りとなし、他に解雇者全部一率に二週間分の慰勞金を給することゝなした